

平成30年度 市民・専門職向け講演会

参加費無料  
申込不要  
手話通訳あり  
定員400名

# 認知症とつきあっていくために ～困った症状（BPSD）の対応について～

認知症には、記憶障害などの他に、人との関わりの中で生じるうつ、不眠、幻覚、妄想、徘徊などのBPSD（行動・心理症状）があり、対応に困ることがあります。そこで今回は、困った症状（BPSD：行動・心理症状）の対応について、大阪市立大学医学部附属病院の専門医の先生から、詳しいお話をいただきます。  
是非、専門職の方々もご参加ください。

2019年**2月23(土)** 14:00～16:00

(13時30分開場)

阿倍野区民センター 大ホール

(司会) 阿倍野区医師会 理事 谷 宗英

(講師)  
**松田 泰範先生**

大阪市立大学院医学研究科 神経精神医学 講師  
日本精神神経学会精神科専門医・指導医  
日本認知症学会専門医・指導医  
(大阪市立大学医学部附属病院でのもの忘れ外来での診療とともに、神経画像検査(CT・MRI・SPECTなど)とBPSDとの関連を中心に研究し、予防・早期発見・介入が可能となるようにBPSDの病態解明に取り組む)

主催：一般社団法人大阪市阿倍野区医師会

(お問合わせ先) 大阪市阿倍野区医師会 ☎06-6621-1061

[共催]

あべのあいあいねっと、阿倍野区在宅医療・介護連携相談支援室  
阿倍野区保健福祉センター、あべのオレンジチーム  
阿倍野区認知症強化型地域包括支援センター